募集代理店

東京スター銀行

引受保険会社

アクサ生命保険株式会社

スターアキュムレーター

StarAccumulator

積立金最低保証特約・死亡給付金最低保証特約（基本保険金額型）付変額個人年金保険（米ドル建）

2023年度（令和5年度）
特別勘定の現況
（アクサ・アロケーションファンド２０／５０／８０）

2023年度（令和5年度）決算のお知らせ

投資対象となる投資信託

EQ・アロケーションファンド２０/５０/８０

【運用会社】 エクイタブル・インベストメント・マネジメント・グループ・エル・エル・シー
エクイタブル・インベストメント・マネジメント・グループ・エル・エル・シーは、米国大手生命保険会社の一つであるエクイタブル・フィナンシャル・ライフ・インシュアランス・カンパニーの投資顧問業務を行う部門が同社の完全子会社として発足した会社で、2012年2月より、当商品組入れ投資信託の運用会社となりました。
当運用会社は資産クラスごとの基本投資配分比率を決定するとともに、資産クラスごとの副運用会社を選定・モニタリングするマネージャーオブマネージャー方式の運用会社です。

・アクサ生命保険株式会社の「スターアキュムレーター(StarAccumulator)」積立金最低保証特約・死亡給付金最低保証特約(基本保険金額型)付変額個人年金保険(米ドル建)は、特別勘定で運用を行う商品です。特別勘定の主たる運用手段として投資信託を用いますが、投資信託ではありません。
・特別勘定の運用は、運用状況によって高い収益性を期待できますが、一方で株式、その他有価証券の価格下落や金利の変動などによる投資リスクを負うことになります。また、資産運用の成果が直接死亡給付金額、払いもどし金額(解約返戻金額)および将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果とリスクが共に契約者に帰属することになります。
・特別勘定が用いる投資信託は、適格機関投資家専用に設定された投資信託です。このため、投資家の皆様は、当該投資信託を直接購入することはできません。
・投資対象となる投資信託の運用レポートは、エクイタブル・インベストメント・マネジメント・グループ・エル・エル・シーから提供されたデータをもとに、アクサ生命保険株式会社が作成しています。
・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
・商品内容の詳細については、「契約締結前交付書面(契約概要/注意喚起情報)」「商品のご案内/ご契約のしおり・約款」「特別勘定のしおり」を必ずお読みください。

2024年7月作成

StarAccumulator スターアキュムレーター
特別勘定の現況（2024年3月末）

・アクサ生命保険株式会社の「スターアキュムレーター(StarAccumulator)」積立金最低保証特約・死亡給付金最低保証特約(基本保険金額型)付変額個人年金保険（米ドル建）は、特別勘定で運用を行う商品です。特別勘定の主たる運用手段として投資信託を用いますが、投資信託ではありません。
・特別勘定の運用は、運用状況によって高い収益性を期待できますが、一方で株式、その他有価証券の価格下落や金利の変動などによる投資リスクを負うことになります。また、資産運用の成果が直接死亡給付金額、払いもどし金額（解約返戻金額）および将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果とリスクが共に契約者に帰属することになります。
・特別勘定が用いる投資信託は、適格機関投資家専用に設定された投資信託です。このため、投資家の皆様は、当該投資信託を直接購入することはできません。
・投資対象となる投資信託の運用レポートは、エクイタブル・インベストメント・マネジメント・グループ・エル・エル・シーから提供されたデータをもとに、アクサ生命保険株式会社が作成しています。
・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
・商品内容の詳細については、「契約締結前交付書面（契約概要/注意喚起情報）」「商品のご案内/ご契約のしおり・約款」「特別勘定のしおり」を必ずお読みください。

特別勘定（アクサ・アロケーションファンド20）の運用方針

特別勘定名	アクサ・アロケーションファンド20
投資対象となる投資信託	EQ・アロケーションファンド20
投資信託の運用会社	エクイタブル・インベストメント・マネジメント・グループ・エル・エル・シー
投資信託の運用方針	当ファンドは、マザーファンドである「EQ・オフショア・コンサバティブ・マルチマネージャー・ファンド」（以下「EQ・コンサバティブ・ファンド」と言います）に100%投資することにより、信託財産の安定的な成長を目指して運用を行ないます。マザーファンドの基本投資配分比率は、主に米国株式20%、米国債券80%とします。主なリスクとして、株式の価格変動リスク、金利変動リスク、信用リスク等があります。
ベンチマーク*	株式部分（割合20%）：S&P500 インデックス 債券部分（割合80%）：ブルームバーグ米国総合インデックス

*当ファンドが100%投資するマザーファンドである「EQ・コンサバティブ・ファンド」のベンチマークです。

特別勘定（アクサ・アロケーションファンド20）の投資状況［2024年3月31日現在 ］

投資状況

	時価合計(米ドル)
投資信託受益証券	15,364,890.67
合計(純資産総額)	15,364,890.67

運用資産

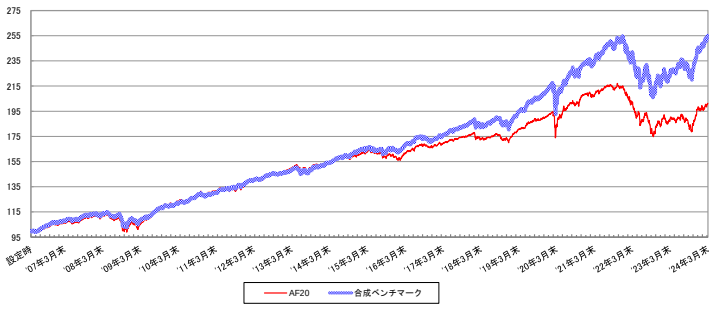
銘柄	時価合計(米ドル)	投資比率(%)
EQ・オフショア・コンサバティブ・マルチマネージャー・ファンド	15,364,890.67	100.00

純資産総額計算書

Ⅰ. 資産総額(米ドル)	15,364,890.67
Ⅱ. 負債総額(米ドル)	0.00
Ⅲ. 純資産総額(Ⅰ－Ⅱ)(米ドル)	15,364,890.67
Ⅳ. 発行済口数(ユニット口数)	763,495.591

ユニットプライスの推移

※グラフは投資信託の運用開始時(2006.5.12)を100として指数化しております。



ユニットプライス（1口当たり）

小数点以下第5位四捨五入

今月末	前月末
20.1224 米ドル	19.7470 米ドル

ユニットプライス騰落率（%）

小数点以下第3位四捨五入

直近1ヶ月	直近1年	運用開始来
1.90%	7.14%	101.22%

*投資信託受益証券時価合計に現金等が含まれる場合、銘柄の時価合計との差額が生じることがあります。
*ユニットプライスとは、特別勘定資産のユニット口数「1口」あたりの価格のことをいい、単位は「米ドル」です。投資信託の運用開始時を基準（10.0000）とし、以後、投資信託の運用実績を反映して日々変動します。
*ユニットプライスは、運用関係費控除後のプライスです。なお、保険契約の積立金額から、別途、保険契約管理費を控除（ユニット口数に反映）しておりますので、ユニットプライスの推移と保険契約の積立金額の推移は異なります。
*ユニットプライス騰落率は、それぞれの期間をさかのぼった該当月の月末のユニットプライスに対して、今月末のユニットプライスがどれくらい変動したかを計算したものです。
*合成ベンチマークとは、「EQ・アロケーションファンド20（ベビーファンド）」が100%投資する「EQ・コンサバティブ・ファンド（マザーファンド）」 のベンチマークであるS&P500インデックスへ20%とブルームバーグ米国総合インデックスへ80%投資したと仮定して計算しています。

引受保険会社：アクサ生命保険株式会社
〒108-8020 東京都港区白金1 - 17 - 3
TEL：0120 - 948 - 193
アクサ生命ホームページ www.axa.co.jp

StarAccumulator スターアキュムレーター
特別勘定の現況（2024年3月末）

・アクサ生命保険株式会社の「スターアキュムレーター(StarAccumulator)」積立金最低保証特約・死亡給付金最低保証特約(基本保険金額型)付変額個人年金保険（米ドル建）は、特別勘定で運用を行う商品です。特別勘定の主たる運用手段として投資信託を用いますが、投資信託ではありません。
・特別勘定の運用は、運用状況によって高い収益性を期待できますが、一方で株式、その他有価証券の価格下落や金利の変動などによる投資リスクを負うことになります。また、資産運用の成果が直接死亡給付金額、払いもどし金額（解約返戻金額）および将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果とリスクが共に契約者に帰属することになります。
・特別勘定が用いる投資信託は、適格機関投資家専用に設定された投資信託です。このため、投資家の皆様は、当該投資信託を直接購入することはできません。
・投資対象となる投資信託の運用レポートは、エクイタブル・インベストメント・マネジメント・グループ・エル・エル・シーから提供されたデータをもとに、アクサ生命保険株式会社が作成しています。
・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
・商品内容の詳細については、「契約締結前交付書面（契約概要/注意喚起情報）」「商品のご案内/ご契約のしおり・約款」「特別勘定のしおり」を必ずお読みください。

特別勘定（アクサ・アロケーションファンド50）の運用方針

特別勘定名	アクサ・アロケーションファンド50
投資対象となる投資信託	EQ・アロケーションファンド50
投資信託の運用会社	エクイタブル・インベストメント・マネジメント・グループ・エル・エル・シー
投資信託の運用方針	当ファンドは、マザーファンドである「EQ・オフショア・モデレート・マルチマネージャー・ファンド」（以下「EQ・モデレート・ファンド」と言います）に100%投資することにより、信託財産の安定的な成長を目指して運用を行ないます。マザーファンドの基本投資配分比率は、主に米国株式50%、米国債券50%とします。主なリスクとして、株式の価格変動リスク、金利変動リスク、信用リスク等があります。
ベンチマーク*	株式部分（割合50%）：S&P500 インデックス 債券部分（割合50%）：ブルームバーグ米国総合インデックス

*当ファンドが100%投資するマザーファンドである「EQ・モデレート・ファンド」のベンチマークです。

特別勘定（アクサ・アロケーションファンド50）の投資状況［2024年3月31日現在］

投資状況

	時価合計(米ドル)
投資信託受益証券	195,256,202.48
合計(純資産総額)	195,256,202.48

運用資産

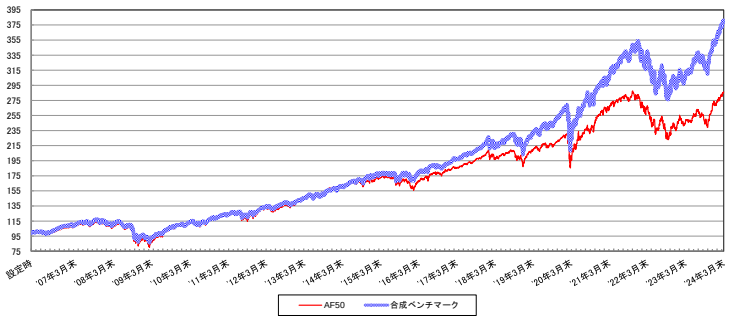
銘柄	時価合計(米ドル)	投資比率(%)
EQ・オフショア・モデレート・マルチマネージャー・ファンド	195,176,207.63	100.00

純資産総額計算書

Ⅰ. 資産総額(米ドル)	195,256,202.48
Ⅱ. 負債総額(米ドル)	0.00
Ⅲ. 純資産総額(Ⅰ－Ⅱ)(米ドル)	195,256,202.48
Ⅳ. 発行済口数(ユニット口数)	6,818,104.883

ユニットプライスの推移

※グラフは投資信託の運用開始時(2006.2.1)を100として指数化しております。



ユニットプライス（1口当たり）

小数点以下第5位四捨五入

今月末	前月末
28.6367 米ドル	27.8640 米ドル

ユニットプライス騰落率（%）

小数点以下第3位四捨五入

直近1ヶ月	直近1年	運用開始来
2.77%	16.18%	186.37%

*投資信託受益証券時価合計に現金等が含まれる場合、銘柄の時価合計との差額が生じることがあります。
*ユニットプライスとは、特別勘定資産のユニット口数「1口」あたりの価格のことをいい、単位は「米ドル」です。投資信託の運用開始時を基準（10.0000）とし、以後、投資信託の運用実績を反映して日々変動します。
*ユニットプライスは、運用関係費控除後のプライスです。なお、保険契約の積立金額から、別途、保険契約管理費を控除（ユニット口数に反映）しておりますので、ユニットプライスの推移と保険契約の積立金額の推移は異なります。
*ユニットプライス騰落率は、それぞれの期間をさかのぼった該当月の月末のユニットプライスに対して、今月末のユニットプライスがどれくらい変動したかを計算したものです。
*合成ベンチマークとは、「EQ・アロケーションファンド50（ベビーファンド）」が100%投資する「EQ・モデレート・ファンド（マザーファンド）」 のベンチマークであるS&P500インデックスとブルームバーグ米国総合インデックスへ50%ずつ投資したと仮定して計算しています。

引受保険会社：アクサ生命保険株式会社
〒108-8020 東京都港区白金1 - 17 - 3
TEL：0120 - 948 - 193
アクサ生命ホームページ www.axa.co.jp

StarAccumulator スターアキュムレーター
特別勘定の現況（2024年3月末）

・アクサ生命保険株式会社の「スターアキュムレーター(StarAccumulator)」積立金最低保証特約・死亡給付金最低保証特約(基本保険金額型)付変額個人年金保険（米ドル建）は、特別勘定で運用を行う商品です。特別勘定の主たる運用手段として投資信託を用いますが、投資信託ではありません。
・特別勘定の運用は、運用状況によって高い収益性を期待できますが、一方で株式、その他有価証券の価格下落や金利の変動などによる投資リスクを負うことになります。また、資産運用の成果が直接死亡給付金額、払いもどし金額（解約返戻金額）および将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果とリスクが共に契約者に帰属することになります。
・特別勘定が用いる投資信託は、適格機関投資家専用に設定された投資信託です。このため、投資家の皆様は、当該投資信託を直接購入することはできません。
・投資対象となる投資信託の運用レポートは、エクイタブル・インベストメント・マネジメント・グループ・エル・エル・シーから提供されたデータをもとに、アクサ生命保険株式会社が作成しています。
・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
・商品内容の詳細については、「契約締結前交付書面（契約概要/注意喚起情報）」「商品のご案内/ご契約のしおり・約款」「特別勘定のしおり」を必ずお読みください。

特別勘定（アクサ・アロケーションファンド80）の運用方針

特別勘定名	アクサ・アロケーションファンド80
投資対象となる投資信託	EQ・アロケーションファンド80
投資信託の運用会社	エクイタブル・インベストメント・マネジメント・グループ・エル・エル・シー
投資信託の運用方針	当ファンドは、マザーファンドである「EQ・オフショア・モデレート・マルチマネージャー・ファンド」(以下「EQ・モデレート・ファンド」と言います)に25%、「EQ・オフショア・アグレッシブ・マルチマネージャー・ファンド」(以下「EQ・アグレッシブ・ファンド」と言います)に75%投資することにより、信託財産の安定的な成長を目指して運用を行ないます。投資対象となる投資信託は、主に米国株式68．75%、国際株式11．25%、米国債券20%に投資します。 主なリスクとして、株式の価格変動リスク、為替リスク、金利変動リスク、信用リスク等があります。
ベンチマーク*	「EQ・モデレート・ファンド」 株式部分（割合50%）：S&P500 インデックス 債券部分（割合50%）：ブルームバーグ米国総合インデックス 「EQ・アグレッシブ・ファンド」 株式部分（割合90%）：S&P500 インデックス、MSCI EAFE インデックス 債券部分（割合10%）：ブルームバーグ米国総合インデックス

*当ファンドが25%投資するマザーファンドである「EQ・モデレート・ファンド」と75%投資するマザーファンドである「EQ・アグレッシブ・ファンド」のベンチマークです。

特別勘定（アクサ・アロケーションファンド80）の投資状況［2024年3月31日現在］

投資状況

	時価合計(米ドル)
投資信託受益証券	22,654,452.66
合計(純資産総額)	22,654,452.66

運用資産

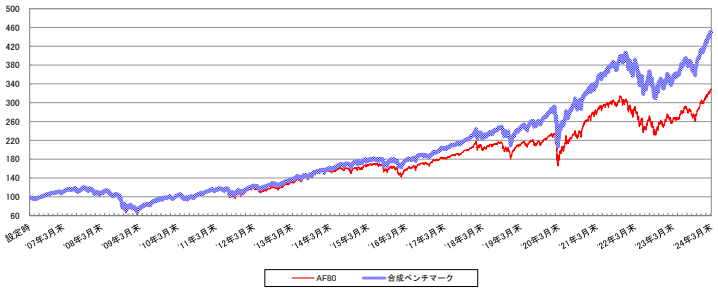
銘柄	時価合計(米ドル)	投資比率(%)
EQ・オフショア・モデレート・マルチマネージャー・ファンド	4,070,092.23	18.01
EQ・オフショア・アグレッシブ・マルチマネージャー・ファンド	18,523,251.07	81.99

純資産総額計算書

Ⅰ．資産総額(米ドル)	22,654,452.66
Ⅱ．負債総額(米ドル)	0.00
Ⅲ．純資産総額(Ⅰ－Ⅱ)(米ドル)	22,654,452.66
Ⅳ．発行済口数(ユニット口数)	688,449.029

ユニットプライスの推移

※グラフは投資信託の運用開始時(2006.5.12)を100として指数化しております。



ユニットプライス（1口当たり）

小数点以下第5位四捨五入

今月末	前月末
32.9099 米ドル	31.7451 米ドル

ユニットプライス騰落率（%）

小数点以下第3位四捨五入

直近1ヶ月	直近1年	運用開始来
3.67%	24.52%	229.10%

*投資信託受益証券時価合計に現金等が含まれる場合、銘柄の時価合計との差額が生じることがあります。
*ユニットプライスとは、特別勘定資産のユニット口数「1口」あたりの価格のことをいい、単位は「米ドル」です。投資信託の運用開始時を基準（10.0000）とし、以後、投資信託の運用実績を反映して日々変動します。
*ユニットプライスは、運用関係費控除後のプライスです。なお、保険契約の積立金額から、別途、保険契約管理費を控除（ユニット口数に反映）しておりますので、ユニットプライスの推移と保険契約の積立金額の推移は異なります。
*ユニットプライス騰落率は、それぞれの期間をさかのぼった該当月の月末のユニットプライスに対して、今月末のユニットプライスがどれくらい変動したかを計算したものです。
*合成ベンチマークとは、「EQ・アロケーションファンド80(ベビーファンド)」が25%投資する「EQ・モデレート・ファンド(マザーファンド)」、75%投資する「EQ・アグレッシブ・ファンド(マザーファンド)」のベンチマークであるS&P500インデックスへ68.75%、MSCI EAFEへ11.25%、およびブルームバーグ米国総合インデックスへ20%投資したと仮定して計算しています。

引受保険会社：アクサ生命保険株式会社
〒108-8020 東京都港区白金1 - 17 - 3
TEL：0120 - 948 - 193
アクサ生命ホームページ www.axa.co.jp

StarAccumulator スターアキュムレーター
特別勘定の現況（2024年3月末）

・アクサ生命保険株式会社の「スターアキュムレーター(StarAccumulator)」積立金最低保証特約・死亡給付金最低保証特約(基本保険金額型)付変額個人年金保険（米ドル建）は、特別勘定で運用を行う商品です。特別勘定の主たる運用手段として投資信託を用いますが、投資信託ではありません。
・特別勘定の運用は、運用状況によって高い収益性を期待できますが、一方で株式、その他有価証券の価格下落や金利の変動などによる投資リスクを負うことになります。また、資産運用の成果が直接死亡給付金額、払いもどし金額（解約返戻金額）および将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果とリスクが共に契約者に帰属することになります。
・特別勘定が用いる投資信託は、適格機関投資家専用に設定された投資信託です。このため、投資家の皆様は、当該投資信託を直接購入することはできません。
・投資対象となる投資信託の運用レポートは、エクイタブル・インベストメント・マネジメント・グループ・エル・エル・シーから提供されたデータをもとに、アクサ生命保険株式会社が作成しています。
・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
・商品内容の詳細については、「契約締結前交付書面（契約概要/注意喚起情報）」「商品のご案内/ご契約のしおり・約款」「特別勘定のしおり」を必ずお読みください。

市場コメント

＜マーケット概況＞

2023年4～6月は、銀行セクターへの圧力や米国の債務不履行の可能性をめぐる懸念にもかかわらず、リスク資産が全般的に上昇しました。中央銀行がタカ派的なフォワード・ガイダンスを再開するなか、成長率が回復を示し、インフレ率が引き続き高水準で推移したことから、債券利回りは全般的に上昇しました。労働市場は引き続き回復力を示し、インフレ率も目標を上回って推移したため、年内の利下げ観測は後退しました。金利見通しが上昇したにもかかわらず投資家心理が経済見通しを改善させたため、6月に米国株式は上昇し、債券は売られました。

2023年7～9月は、経済データの上振れサプライズにより、高金利が長く継続する必要があるとの投資家の懸念が再燃したため、リスク・センチメントが低下しました。中央銀行がタカ派的なフォワード・ガイダンスを継続するなか、成長率が回復を示し、インフレ率が引き続き高水準で推移したことから、債券利回りは全般的に上昇しました。イールドカーブの傾きが急になったため、国債は総じて軟調に推移しました。さらに、約4,000万人の米国人の学生ローンの返済が3年ぶりに再開する際には、学生ローンの負債残高は1.8兆ドルに達していました。

2023年10～12月は、インフレ鈍化と労働市場の冷え込みが示唆されたことから、市場参加者は2024年に向けた利下げ路線の加速を織り込み、世界の債券市場は幅広く上昇（債券利回りは低下）しました。連邦準備制度理事会のドットチャートは2024年に75bpsの利下げを行う可能性を指摘し、会合後のパウエル議長のハト派的なコメントも債券利回りの低下と年末の株高を後押ししました。

2024年1～3月は、テクノロジー株の活況を背景にリスク資産が上昇し、クレジット・スプレッドが幅広く縮小しました。連邦準備制度理事会が利下げを行う可能性のある時期を公式に年半ばに延期し、インフレ率が引き続き高水準で推移したことから、債券利回りは上昇しました。

マザーファンド（EQ・コンサバティブ・ファンド*）運用コメント

***EQ・コンサバティブ・ファンドは、特別勘定が投資対象とする「EQ・アロケーションファンド20」が100%投資しているマザーファンドです。**

マザーファンド（EQ・コンサバティブ・ファンド）運用コメント

＜ポートフォリオハイライト＞

2023年4月1日～2024年3月末日について

2023年度末時点での当ファンドの資産クラス別組入れ比率は、債券が約78.4%、米国株式が約21.6%でした。債券部分については[パシフィック・インベストメント・マネジメント・カンパニー・エルエルシー]が運用を行っています。米国株式の運用会社は、大型成長株式については[ルーミス・セイレス・アンド・カンパニー・エル・ピー]、大型割安株式については[バロー、ハンリー、ミューヒニー・アンド・ストラウス・インク]と、[アリストテレス・キャピタル・マネジメント・エルエルシー]で構成されています。

2023年度のファンドリターンは6.49%、ベンチマークのリターンは6.92%でした。ベンチマークは、S&P 500指数に20%、ブルームバーグ米国総合債券指数に80%投資したと仮定してそれぞれのリターンを加重平均した合成指数です。

＜株式ポートフォリオハイライト＞

当年度パフォーマンスのプラス材料

資本財・サービスセクターの銘柄選定がプラス寄与となりました。資本財・サービスセクターでプラス寄与が特に大きかった銘柄は、Vertiv Holdings Class A（バーティブ・ホールディングス）、Parker-Hannifin Corp（パーカー・ハネフィン）でした。

情報技術セクターの銘柄選定がプラス寄与となりました。情報技術セクターでプラス寄与が特に大きかった銘柄は、Nvidia Corp（エヌビディア）、Broadcom Inc.（ブロードコム）、Apple Inc.（非保有）（アップル）でした。

当年度パフォーマンスのマイナス材料

一般消費財・サービスセクターの銘柄選定がマイナス寄与となりました。一般消費財・サービスセクターでマイナス寄与が特に大きかった銘柄は、Aptiv Plc（アプティブ）、Las Vegas Sands Corp（ラスベガス・サンズ）、Sony Group Adr Representing Corp（ソニーグループ）でした。

金融セクターの銘柄選定がマイナス寄与となりました。金融セクターでマイナス寄与が特に大きかった銘柄は、JPMorgan Chase & Co.（非保有）（JPモルガン・チェース・アンド・カンパニー）でした。

＜債券ポートフォリオハイライト＞

当年度パフォーマンスのプラス材料

クレジット・スプレッドが縮小した中でのエージェンシーMBSなど証券化クレジットの保有や、米国債券デュレーション戦略、地方債の保有がプラス寄与となりました。

当年度パフォーマンスのマイナス材料

クレジット・スプレッドが縮小した中での投資適格社債のアンダーウェイトがマイナス寄与となりました。

StarAccumulator スターアキュムレーター
特別勘定の現況（2024年3月末）

・アクサ生命保険株式会社の「スターアキュムレーター(StarAccumulator)」積立金最低保証特約・死亡給付金最低保証特約(基本保険金額型)付変額個人年金保険（米ドル建）は、特別勘定で運用を行う商品です。特別勘定の主たる運用手段として投資信託を用いますが、投資信託ではありません。
・特別勘定の運用は、運用状況によって高い収益性を期待できますが、一方で株式、その他有価証券の価格下落や金利の変動などによる投資リスクを負うことになります。また、資産運用の成果が直接死亡給付金額、払いもどし金額（解約返戻金額）および将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果とリスクが共に契約者に帰属することになります。
・特別勘定が用いる投資信託は、適格機関投資家専用に設定された投資信託です。このため、投資家の皆様は、当該投資信託を直接購入することはできません。
・投資対象となる投資信託の運用レポートは、エクイタブル・インベストメント・マネジメント・グループ・エル・エル・シーから提供されたデータをもとに、アクサ生命保険株式会社が作成しています。
・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
・商品内容の詳細については、「契約締結前交付書面（契約概要/注意喚起情報）」「商品のご案内/ご契約のしおり・約款」「特別勘定のしおり」を必ずお読みください。

マザーファンド（EQ・モデレート・ファンド*）運用コメント

***EQ・モデレート・ファンドは、特別勘定が投資対象とする「EQ・アロケーションファンド50」が100%、「EQ・アロケーションファンド80」が25%投資しているマザーファンドです。**

マザーファンド（EQ・モデレート・ファンド）運用コメント

＜ポートフォリオハイライト＞
2023年4月1日～2024年3月末日について
2023年度末時点での当ファンドの資産クラス別組入れ比率は、債券が約48.5%、米国株式が約51.5%でした。債券部分については[パシフィック・インベストメント・マネジメント・カンパニー・エルエルシー]が運用を行っています。米国株式の運用会社は、大型成長株式については[ルーミス・セイレス・アンド・カンパニー・エル・ピー]、大型割安株式については[バロー、ハンリー、ミューヒニー・アンド・ストラウス・インク]と、[アリストテレス・キャピタル・マネジメント・エルエルシー]、小型成長株式については[アライアンス・バーンスタイン・エルピー] 、小型割安株式については[ガムコ・アセット・マネジメント・インク]で構成されています。
2023年度のファンドリターンは15.01%、ベンチマークのリターンは15.13%でした。ベンチマークは、S&P 500指数に50%、ブルームバーグ米国総合債券指数に50%投資したと仮定してそれぞれのリターンを加重平均した合成指数です。

＜株式ポートフォリオハイライト＞
当年度パフォーマンスのプラス材料
コミュニケーション・サービスセクターの銘柄選定がプラス寄与となりました。コミュニケーション・サービスセクターでプラス寄与が特に大きかった銘柄は、Meta Platforms, Inc. Class A（メタ・プラットフォームズ）、Netflix Inc.（ネットフリックス）でした。
資本財・サービスセクターの銘柄選定がプラス寄与となりました。資本財・サービスセクターでプラス寄与が特に大きかった銘柄は、Vertiv Holdings Co Class A（バーティブ・ホールディングス）、Parker-Hannifin Corp（パーカー・ハネフィン）でした。

当年度パフォーマンスのマイナス材料
一般消費財・サービスセクターの銘柄選定がマイナス寄与となりました。一般消費財・サービスセクターでマイナス寄与が特に大きかった銘柄は、Amazon.Com, Inc.（アンダーウエイト）（アマゾン・ドット・コム）、Yum China Holdings, Inc.（ヤム・チャイナ・ホールディングス）でした。
ヘルスケアセクターの銘柄選定がマイナス寄与となりました。ヘルスケアセクターでマイナス寄与が特に大きかった銘柄は、Eli Lilly & Co（非保有）（イーライリリー）、Alnylam Pharmaceuticals, Inc.（アルナイラム・ファーマシューティカルズ）、Illumina, Inc（イルミナ）でした。

＜債券ポートフォリオハイライト＞
当年度パフォーマンスのプラス材料
クレジット・スプレッドが縮小した中でのエージェンシーMBSなど証券化クレジットの保有や、特に金融セクターや公益事業セクターの投資適格ならびに高利回り社債の保有、米国債券デュレーション戦略がプラス寄与となりました。

当年度パフォーマンスのマイナス材料
ポートフォリオの大きなマイナス要因はありませんでした。

StarAccumulator スターアキュムレーター
特別勘定の現況（2024年3月末）

・アクサ生命保険株式会社の「スターアキュムレーター(StarAccumulator)」積立金最低保証特約・死亡給付金最低保証特約(基本保険金額型)付変額個人年金保険（米ドル建）は、特別勘定で運用を行う商品です。特別勘定の主たる運用手段として投資信託を用いますが、投資信託ではありません。
・特別勘定の運用は、運用状況によって高い収益性を期待できますが、一方で株式、その他有価証券の価格下落や金利の変動などによる投資リスクを負うことになります。また、資産運用の成果が直接死亡給付金額、払いもどし金額（解約返戻金額）および将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果とリスクが共に契約者に帰属することになります。
・特別勘定が用いる投資信託は、適格機関投資家専用に設定された投資信託です。このため、投資家の皆様は、当該投資信託を直接購入することはできません。
・投資対象となる投資信託の運用レポートは、エクイタブル・インベストメント・マネジメント・グループ・エル・エル・シーから提供されたデータをもとに、アクサ生命保険株式会社が作成しています。
・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
・商品内容の詳細については、「契約締結前交付書面（契約概要/注意喚起情報）」「商品のご案内/ご契約のしおり・約款」「特別勘定のしおり」を必ずお読みください。

マザーファンド（EQ・アグレッシブ・ファンド*）運用コメント

***EQ・アグレッシブ・ファンドは、特別勘定が投資対象とする「EQ・アロケーションファンド80」が75%投資しているマザーファンドです。**

マザーファンド（EQ・アグレッシブ・ファンド）運用コメント

＜ポートフォリオハイライト＞
2023年4月1日～2024年3月末日について

2023年度末時点での当ファンドの資産クラス別組入れ比率は、債券が約9.9%、米国株式が約75.7%、米国以外の株式が約14.4%でした。債券部分については[ピムコ・アクティブ・ボンドETF]に投資しています。米国以外の株式は[iシェアーズMSCI EAFEバリュー ETF]に投資しています。米国株式の運用会社は、大型成長株式については[ルーミス・セイレス・アンド・カンパニー・エル・ピー]、大型割安株式については[バロー、ハンリー、ミューヒニー・アンド・ストラウス・インク]と、[アリストテレス・キャピタル・マネジメント・エルエルシー]、小型成長株式については[アライアンス・バーンスタイン・エルピー]、小型割安株式については[ガムコ・アセット・マネジメント・インク]で構成されています。

2023年度のファンドリターンは24.83%、ベンチマークのリターンは24.61%でした。ベンチマークは、S&P 500指数に75%、MSCI EAFE指数に15%、ブルームバーグ米国総合債券指数に10%投資したと仮定してそれぞれのリターンを加重平均した合成指数です。

＜株式ポートフォリオハイライト＞
当年度パフォーマンスのプラス材料

コミュニケーション・サービスセクターの銘柄選定がプラス寄与となりました。コミュニケーション・サービスセクターでプラス寄与が特に大きかった銘柄は、Meta Platforms, Inc. Class A（メタ・プラットフォームズ）、Netflix, Inc.（ネットフリックス）でした。

資本財・サービスセクターの銘柄選定がプラス寄与となりました。資本財・サービスセクターでプラス寄与が特に大きかった銘柄は、Vertiv Holdings Co Class A（バーティブ・ホールディングス）、Parker-Hannifin Corp（パーカー・ハネフィン）でした。

当年度パフォーマンスのマイナス材料

一般消費財・サービスセクターの銘柄選定がマイナス寄与となりました。一般消費財・サービスセクターでマイナス寄与が特に大きかった銘柄は、Yum China Holdings, Inc.（ヤム・チャイナ・ホールディングス）、Alibaba Group Holding Adr（アリババグループ・ホールディング）でした。

金融セクターの銘柄選定がマイナス寄与となりました。金融セクターでマイナス寄与が特に大きかった銘柄は、JPMorgan Chase & Co.（非保有）（JPモルガン・チェース・アンド・カンパニー）でした。

＜債券ポートフォリオハイライト＞
当年度パフォーマンスのプラス材料

クレジット・スプレッドが縮小した中でのノンエージェンシーMBSやAAA格CLOなど証券化クレジットの保有や、金利上昇局面での長期債のアンダーウェイトを含む米国債券デュレーション戦略、投資適格社債の銘柄選定がプラス寄与となりました。

当年度パフォーマンスのマイナス材料

大きなポートフォリオのマイナス要因はありませんでした。

StarAccumulator スターアキュムレーター
特別勘定の現況（2024年3月末）

・アクサ生命保険株式会社の「スターアキュムレーター(StarAccumulator)」積立金最低保証特約・死亡給付金最低保証特約(基本保険金額型)付変額個人年金保険（米ドル建）は、特別勘定で運用を行う商品です。特別勘定の主たる運用手段として投資信託を用いますが、投資信託ではありません。
・特別勘定の運用は、運用状況によって高い収益性を期待できますが、一方で株式、その他有価証券の価格下落や金利の変動などによる投資リスクを負うことになります。また、資産運用の成果が直接死亡給付金額、払いもどし金額（解約返戻金額）および将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果とリスクが共に契約者に帰属することになります。
・特別勘定が用いる投資信託は、適格機関投資家専用に設定された投資信託です。このため、投資家の皆様は、当該投資信託を直接購入することはできません。
・投資対象となる投資信託の運用レポートは、エクイタブル・インベストメント・マネジメント・グループ・エル・エル・シーから提供されたデータをもとに、アクサ生命保険株式会社が作成しています。
・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
・商品内容の詳細については、「契約締結前交付書面（契約概要/注意喚起情報）」「商品のご案内/ご契約のしおり・約款」「特別勘定のしおり」を必ずお読みください。

マザーファンド（「EQ・コンサバティブ・ファンド」*）のポートフォリオの状況 [2024年3月31日現在（米国）]

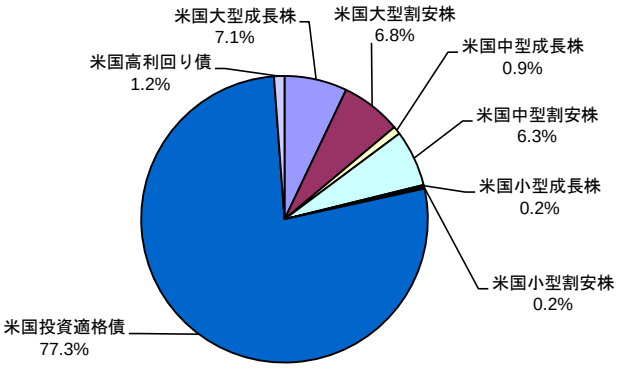
***EQ・コンサバティブ・ファンドは、特別勘定が投資対象とする「EQ・アロケーションファンド20」が100%投資しているマザーファンドです。**

資産別の構成比率

*比率は小数点第2位四捨五入しております。純資産に基づき作成しております。

資産クラス	比率	主要投資対象	比率
米国大型成長株	7.1%	米国株式	21.6%
米国大型割安株	6.8%		
米国中型成長株	0.9%		
米国中型割安株	6.3%		
米国小型成長株	0.2%		
米国小型割安株	0.2%		
米国投資適格債	77.3%	米国債券	78.4%
米国高利回り債	1.2%		

(注)比率は種類別の時価金額（有価証券の買戻しに係る未払金控除後）の純資産総額に対する比率をいいます。



組入上位銘柄

（対純資産総額比率）

	米国株式等	組入比率
1	マイクロソフト (Microsoft Corporation)	0.5%
2	クアルコム (Qualcomm Inc.)	0.5%
3	バーティブ・ホールディングス (Vertiv Holdings Co)	0.5%
4	オラクル (Oracle Corporation)	0.4%
5	メタ・プラットフォームズ (Meta Platforms, Inc.)	0.3%
6	エヌビディア (Nvidia Corporation)	0.3%
7	メルク (Merck & Co. Inc.)	0.3%
8	マイクロチップ・テクノロジー (Microchip Technology Inc.)	0.3%
9	オートデスク (Autodesk, Inc.)	0.3%
10	パーカー・ハネフィン (Parker-Hannifin Corporation)	0.3%

組入銘柄数：148

	米国債券等	利率	償還日	組入比率
1	ユニホーム・モーゲージ担保証券　TBA（TBA Uniform Mortgage-Backed Security）	3.500%	2054年5月25日	11.1%
2	米国短期国債（U.S. Treasury Bill）	0.000%	2024年4月11日	9.7%
3	ユニホーム・モーゲージ担保証券　TBA（TBA Uniform Mortgage-Backed Security）	5.000%	2054年5月25日	8.4%
4	ユニホーム・モーゲージ担保証券　TBA（TBA Uniform Mortgage-Backed Security）	4.500%	2054年4月25日	5.6%
5	ユニホーム・モーゲージ担保証券　TBA（TBA Uniform Mortgage-Backed Security）	4.000%	2054年5月25日	3.6%
6	ジニーメイ（連邦政府抵当金庫）（Government National Mortgage Association）	6.044%	2065年4月20日	3.1%
7	米国短期国債（U.S. Treasury Bill）	0.000%	2024年5月21日	2.6%
8	米国中期国債（U.S. Treasury Note）	0.250%	2025年1月15日	2.5%
9	ユニホーム・モーゲージ担保証券（Uniform Mortgage-Backed Security）	4.000%	2052年8月1日	2.2%
10	ジニーメイ（連邦政府抵当金庫）（Government National Mortgage Association）	6.064%	2065年4月20日	2.1%

組入銘柄数：109

業種別構成比

（対株式の資産時価総額比率）

	米国株式	組入比率
1	資本財	11.1%
2	ソフトウェア・サービス	9.4%
3	素材	8.4%
4	半導体・半導体製造装置	7.7%
5	金融サービス	7.7%
6	メディア・娯楽	6.2%
7	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	5.9%
8	エネルギー	5.3%
9	ヘルスケア機器・サービス	4.7%
10	銀行	4.4%

(注)組入比率は株式の資産時価金額合計に対する業種別の資産時価金額の比率をいいます。

(注)TBA投資に伴う取引を考慮して算出しております。
TBA取引とは、モーゲージ・パススルー証券の売買の際に、発行機関、年限、クーポン、額面金額などを特定し、受渡しの対象となるプール（複数の住宅ローンをまとめたもの）は指定せずに行う先渡取引形態です。

引受保険会社：アクサ生命保険株式会社
〒108-8020 東京都港区白金1 - 17 - 3
TEL：0120 - 948 - 193
アクサ生命ホームページ www.axa.co.jp

StarAccumulator スターアキュムレーター
特別勘定の現況（2024年3月末）

・アクサ生命保険株式会社の「スターアキュムレーター(StarAccumulator)」積立金最低保証特約・死亡給付金最低保証特約(基本保険金額型)付変額個人年金保険（米ドル建）は、特別勘定で運用を行う商品です。特別勘定の主たる運用手段として投資信託を用いますが、投資信託ではありません。
・特別勘定の運用は、運用状況によって高い収益性を期待できますが、一方で株式、その他有価証券の価格下落や金利の変動などによる投資リスクを負うことになります。また、資産運用の成果が直接死亡給付金額、払いもどし金額(解約返戻金額)および将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果とリスクが共に契約者に帰属することになります。
・特別勘定が用いる投資信託は、適格機関投資家専用に設定された投資信託です。このため、投資家の皆様は、当該投資信託を直接購入することはできません。
・投資対象となる投資信託の運用レポートは、エクイタブル・インベストメント・マネジメント・グループ・エル・エル・シーから提供されたデータをもとに、アクサ生命保険株式会社が作成しています。
・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
・商品内容の詳細については、「契約締結前交付書面(契約概要/注意喚起情報)」「商品のご案内/ご契約のしおり・約款」「特別勘定のしおり」を必ずお読みください。

マザーファンド（「EQ・モデレート・ファンド」*）のポートフォリオの状況 [2024年3月31日現在（米国）]

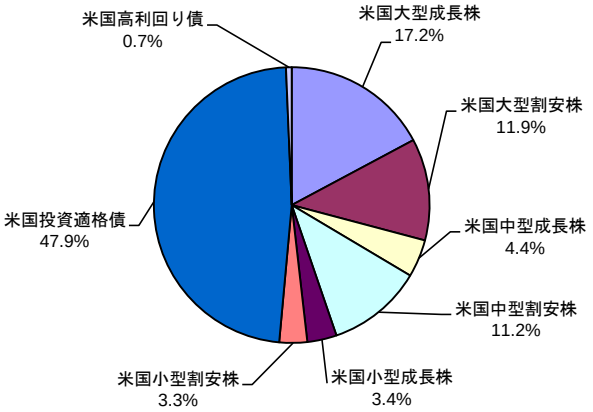
***EQ・モデレート・ファンドは、特別勘定が投資対象とする「EQ・アロケーションファンド50」が100%投資しているマザーファンドです。また、「EQ・アロケーションファンド80」が25%投資しているマザーファンドです。**

資産別の構成比率

*比率は小数点第2位四捨五入しております。純資産に基づき作成しております。

資産クラス	比率	主要投資対象	比率
米国大型成長株	17.2%	米国株式	51.5%
米国大型割安株	11.9%		
米国中型成長株	4.4%		
米国中型割安株	11.2%		
米国小型成長株	3.4%		
米国小型割安株	3.3%		
米国投資適格債	47.9%	米国債券	48.5%
米国高利回り債	0.7%		

(注)比率は種類別の時価金額(有価証券の買戻しに係る未払金控除後)の純資産総額に対する比率をいいます。



組入上位銘柄

（対純資産総額比率）

	米国株式等	組入比率
1	エヌビディア (Nvidia Corporation)	1.3%
2	メタ・プラットフォームズ (Meta Platforms, Inc.)	1.2%
3	マイクロソフト (Microsoft Corporation)	1.1%
4	アマゾン･ドット･コム (Amazon.com, Inc.)	1.0%
5	オラクル (Oracle Corporation)	0.9%
6	クアルコム (Qualcomm Inc.)	0.9%
7	ネットフリックス (Netflix, Inc.)	0.8%
8	オートデスク (Autodesk, Inc.)	0.8%
9	アルファベット (Alphabet Inc.)	0.8%
10	ボーイング (Boeing Co.)	0.7%

組入銘柄数：327

	米国債券等	利率	償還日	組入比率
1	ユニホーム・モーゲージ担保証券　TBA（TBA Uniform Mortgage-Backed Security）	3.000%	2054年4月25日	6.2%
2	ユニホーム・モーゲージ担保証券　TBA（TBA Uniform Mortgage-Backed Security）	3.500%	2054年5月25日	4.7%
3	ユニホーム・モーゲージ担保証券　TBA（TBA Uniform Mortgage-Backed Security）	5.500%	2054年4月25日	2.1%
4	ユニホーム・モーゲージ担保証券　TBA（TBA Uniform Mortgage-Backed Security）	5.000%	2054年5月25日	2.0%
5	ユニホーム・モーゲージ担保証券　TBA（TBA Uniform Mortgage-Backed Security）	4.000%	2054年5月25日	1.8%
6	ユニホーム・モーゲージ担保証券　TBA（TBA Uniform Mortgage-Backed Security）	3.500%	2054年4月25日	1.7%
7	ユニホーム・モーゲージ担保証券（Uniform Mortgage-Backed Security）	4.000%	2052年8月1日	1.5%
8	ユニホーム・モーゲージ担保証券（Uniform Mortgage-Backed Security）	4.500%	2053年8月1日	1.4%
9	米国中期国債（U.S. Treasury Note）	0.250%	2025年1月15日	1.2%
10	米国短期国債（U.S. Treasury Bill）	0.000%	2024年5月16日	1.1%

組入銘柄数：311

業種別構成比

（対株式の資産時価総額比率）

	米国株式	組入比率
1	資本財	15.8%
2	ソフトウェア・サービス	9.8%
3	メディア・娯楽	7.9%
4	半導体・半導体製造装置	7.1%
5	金融サービス	7.0%
6	素材	6.5%
7	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	6.3%
8	耐久消費財・アパレル	4.4%
9	ヘルスケア機器・サービス	4.3%
10	エネルギー	3.8%

(注)組入比率は株式の資産時価金額合計に対する業種別の資産時価金額の比率をいいます。

(注)TBA投資に伴う取引を考慮して算出しております。
TBA取引とは、モーゲージ・パススルー証券の売買の際に、発行機関、年限、クーポン、額面金額などを特定し、受渡しの対象となるプール（複数の住宅ローンをまとめたもの）は指定せずに行う先渡取引形態です。

引受保険会社：アクサ生命保険株式会社
〒108-8020 東京都港区白金1 - 17 - 3
TEL：0120 - 948 - 193
アクサ生命ホームページ www.axa.co.jp

StarAccumulator スターアキュムレーター
特別勘定の現況（2024年3月末）

・アクサ生命保険株式会社の「スターアキュムレーター(StarAccumulator)」積立金最低保証特約・死亡給付金最低保証特約(基本保険金額型)付変額個人年金保険（米ドル建）は、特別勘定で運用を行う商品です。特別勘定の主たる運用手段として投資信託を用いますが、投資信託ではありません。
・特別勘定の運用は、運用状況によって高い収益性を期待できますが、一方で株式、その他有価証券の価格下落や金利の変動などによる投資リスクを負うことになります。また、資産運用の成果が直接死亡給付金額、払いもどし金額（解約返戻金額）および将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果とリスクが共に契約者に帰属することになります。
・特別勘定が用いる投資信託は、適格機関投資家専用に設定された投資信託です。このため、投資家の皆様は、当該投資信託を直接購入することはできません。
・投資対象となる投資信託の運用レポートは、エクイタブル・インベストメント・マネジメント・グループ・エル・エル・シーから提供されたデータをもとに、アクサ生命保険株式会社が作成しています。
・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
・商品内容の詳細については、「契約締結前交付書面（契約概要/注意喚起情報）」「商品のご案内/ご契約のしおり・約款」「特別勘定のしおり」を必ずお読みください。

マザーファンド（「EQ・アグレッシブ・ファンド」*）のポートフォリオの状況 [2024年3月31日現在（米国）]

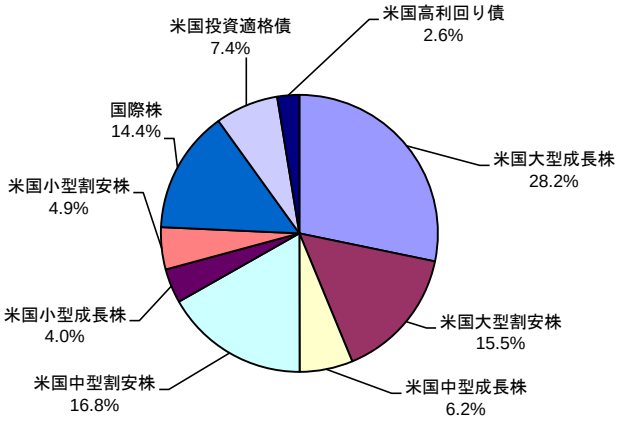
***EQ・アグレッシブ・ファンドは、特別勘定が投資対象とする「EQ・アロケーションファンド80」が75%投資しているマザーファンドです。**

資産別の構成比率

*比率は小数点第2位四捨五入しております。純資産に基づき作成しております。

資産クラス	比率	主要投資対象	比率
米国大型成長株	28.2%	米国株式	75.7%
米国大型割安株	15.5%		
米国中型成長株	6.2%		
米国中型割安株	16.8%		
米国小型成長株	4.0%		
米国小型割安株	4.9%		
国際株	14.4%	国際株式	14.4%
米国投資適格債	7.4%	米国債券	7.4%
米国高利回り債	2.6%		2.6%

(注)比率は種類別の時価金額（有価証券の買戻しに係る未払金控除後）の純資産総額に対する比率をいいます。



組入上位銘柄

（対純資産総額比率）

	米国株式等	組入比率
1	ｉシェアーズMSCI EAFEバリュー ETF (ISHARES MSCI EAFE VALUE)	5.7%
2	エヌビディア (Nvidia Corporation)	2.5%
3	メタ・プラットフォームズ (Meta Platforms, Inc.)	2.5%
4	アマゾン･ドット･コム (Amazon.com, Inc.)	2.0%
5	マイクロソフト (Microsoft Corporation)	2.0%
6	オラクル (Oracle Corporation)	1.7%
7	ネットフリックス (Netflix, Inc.)	1.7%
8	アルファベット (Alphabet Inc.)	1.6%
9	クアルコム (Qualcomm Inc.)	1.5%
10	オートデスク (Autodesk, Inc.)	1.5%

	米国債券等	利率	償還日	組入比率
1	ピムコ・アクティブ・ボンドETF (PIMCO Active Bond ETF)	-	-	7.3%
2	-	-	-	-
3	-	-	-	-
4	-	-	-	-
5	-	-	-	-
6	-	-	-	-
7	-	-	-	-
8	-	-	-	-
9	-	-	-	-
10	-	-	-	-

組入銘柄数：309

業種別構成比

（対株式の資産時価総額比率）

	米国株式	組入比率
1	資本財	13.2%
2	ソフトウェア・サービス	10.8%
3	メディア・娯楽	10.1%
4	半導体・半導体製造装置	7.9%
5	金融サービス	7.5%
6	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	6.9%
7	素材	5.9%
8	ヘルスケア機器・サービス	4.4%
9	一般消費財・サービス流通・小売り	4.1%
10	食品・飲料・タバコ	3.9%

(注)組入比率は株式の資産時価金額合計に対する業種別の資産時価金額の比率をいいます。

(注1)TBA投資に伴う取引を考慮して算出しております。
TBA取引とは、モーゲージ・パススルー証券の売買の際に、発行機関、年限、クーポン、額面金額などを特定し、受渡しの対象となるプール（複数の住宅ローンをまとめたもの）は指定せずに行う先渡取引形態です。
(注2)ETFは利率/償還日を表示しておりません。
組入銘柄数はETFを除いた銘柄数、業種別構成比はETFを除いた比率となります。

引受保険会社：アクサ生命保険株式会社
〒108-8020 東京都港区白金1 - 17 - 3
TEL：0120 - 948 - 193
アクサ生命ホームページ www.axa.co.jp

StarAccumulator スターアキュムレーターのリスク及び諸費用について

【投資リスクについて】

・この保険は、積立金額および年金額などが特別勘定資産の運用実績に応じて変動（増減）するしくみの米ドル建の変額個人年金保険です。
特別勘定資産の運用は、投資信託を利用して主に米国株式・米国債券などで行なっており、株式および公社債の価格変動に伴う投資リスクがあります。特別勘定資産の運用実績が積立金額に直接反映されますので、運用実績によっては、年金額や払いもどし金額などのお受け取りになる金額の合計額が一時払保険料を下回ることがあります。
・このリスクはご契約者に帰属します。

【為替リスクについて】

・この保険は米ドル建ですので、外国為替相場の変動による影響を受けます。
年金や給付金などのお受取時における外国為替相場によって円に換算した年金や給付金などの額が、ご契約時における外国為替相場によって円に換算した年金や給付金などの額を下回ることがあります。
お受取時における外国為替相場によって円に換算した年金受取総額などが、お払込み時における外国為替相場によって円に換算した一時払保険料相当額を下回ることがあります。
・このリスクは、ご契約者および受取人に帰属します。

【諸費用について】

●この商品にかかる費用の合計額は、下記の各費用の合計額となります。

■年金支払開始日前（終身死亡保障特則適用の場合は適用日以後もご負担いただきます。）

●ユニット数に反映される費用（ユニットプライスの計算後、費用の控除によりユニット数が減少します。）

項目		費用 （特別勘定の積立金額に対して）	ご負担いただく時期
保険契約管理費	死亡給付金の最低保証、積立金の最低保証、災害死亡給付金のお支払い、ならびに、ご契約の締結および維持に必要な費用	アクサ・アロケーションファンド20 **年率 1.13%** アクサ・アロケーションファンド50 **年率 1.86%** アクサ・アロケーションファンド80 **年率 3.16%** --- 積立金最低保証特約が消滅した場合または積立金額（保険契約管理費控除前）が直後に到来する積立金最低保証日における積立金最低保証額の2倍を超える場合 アクサ・アロケーションファンド20 **年率 1.06%** アクサ・アロケーションファンド50 **年率 1.13%** アクサ・アロケーションファンド80 **年率 1.26%**	毎日、積立金額から控除します。（ユニット数に反映します。）

（積立金移転時の保険契約管理費のお取扱い）
積立金の移転が行なわれた場合の移転後の保険契約管理費は、移転前後の保険契約管理費のうちいずれか高い方を適用します。
〈例〉 ●アクサ・アロケーションファンド20からアクサ・アロケーションファンド80に移転
→年率1．13%から年率3．16%に変更となります。
●アクサ・アロケーションファンド80からアクサ・アロケーションファンド20に移転
→年率3．16%のまま変更されません。

●ユニットプライスに反映される費用（以下の費用を控除したうえでユニットプライスが計算されます。）

項目		費用	ご負担いただく時期
運用関係費 （＊②）	特別勘定の運用などに必要な費用で、特別勘定が投資対象とする投資信託の管理報酬等が含まれます。	アクサ・アロケーションファンド20 **年率 1.4%以内** 管理報酬等は投資信託の純資産額に対して、年率1.4%以内となります。（＊①） --- アクサ・アロケーションファンド50 **年率 1.5%以内** 管理報酬等は投資信託の純資産額に対して、年率1.5%以内となります。（＊①） --- アクサ・アロケーションファンド80 **年率 1.6%以内** 管理報酬等は投資信託の純資産額に対して、年率1.6%以内となります。（＊①）	特別勘定にて利用する投資信託において、毎日、投資信託の純資産額から控除します。（ユニットプライスに反映します。）

(＊①) 管理報酬等は、運用会社、受託会社、管理事務代行会社および保管会社への報酬・費用、その他の費用（監査法人報酬など）で、マザーファンドにおいて控除されます。
その他お客さまにご負担いただく費用には、有価証券の売買手数料および保有する有価証券の配当などに対する源泉徴収税などの諸費用がありますが、運用資産額や取引量などによって変動するため費用の発生前に具体的な金額や計算方法を記載することが困難であり、表示することができません。また、これらの費用は各特別勘定がその保有資産から負担するため、特別勘定のユニットプライスに反映されることとなります。したがって、お客さまはこれらの費用を間接的に負担することになります。

(＊②)運用関係費は、運用手法の変更、運用資産額の変動などの理由により将来変更される可能性があります。

引受保険会社：アクサ生命保険株式会社
〒108-8020 東京都港区白金1 - 17 - 3
TEL：0120 - 948 - 193
アクサ生命ホームページ www.axa.co.jp

StarAccumulator スターアキュムレーターのリスク及び諸費用について

●解約控除

項目		費用	ご負担いただく時期
解約控除	解約払いもどし金のお支払いにおける控除	解約控除額は、解約計算基準日の積立金額に解約控除率を乗じた金額となります。	解約時に、積立金額から控除します。

【解約控除率】 ※1年未満は切り上げとなります。

契約年数	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目～
解約控除率	9%	8%	7%	6%	5%	4%	3%	2%	1%	0%

ただし、無償引出限度額(＊③)と同額までの積立金額については、解約控除額の計算の対象になりません。
(＊③) 解約日(引出日)の属する保険年度の初日の積立金額(＊④)の10%となります。
(＊④) 解約日(引出日)が契約日からその日を含めて1年以内の場合は一時払保険料とします。

■年金支払開始日以後(「年金払特約」による年金を含みます。)

項目	費用	ご負担いただく時期
年金管理費	年金支払額の1.0%	年金支払日に、責任準備金から控除します。

※「年金払特約」によりお受け取りいただく場合は、記載の費用は上限です。年金管理費は、将来変更となる可能性があります。

【年金や死亡給付金などを円通貨でお受け取りいただく場合(「円支払特約」を適用する場合)】

○円支払特約の適用により年金や死亡給付金などを円でお受け取りになる場合、円に換算する日(換算基準日)のTTM レート－40銭の為替手数料がかかります。
換算基準日は、年金の場合は年金支払開始日、死亡給付金額などの場合はアクサ生命が所定の必要書類を受付けた日の翌営業日となります。
※TTM レートは、上記の各換算基準日において所定の金融機関が公示する対顧客電信売買相場仲値(1日のうちに公示値の変更があった場合は、その日の最初の公示値)となります。
※為替手数料は将来変更となることがあります。

【年金や死亡給付金などを米ドル通貨でお受け取りいただく場合】

○アクサ生命からの送金にかかる手数料は、お客さま(受取人)に負担していただきます。なお、金額については、送金する金額や取扱金融機関によって異なるため、表示できません。
※円支払特約を適用し、年金などを円でお受け取りいただく場合には、アクサ生命からの送金にかかる手数料は、アクサ生命が負担します。

【その他留意事項について】

■積立金額最低保証

積立金額最低保証は、契約日から10年、15年、20年、25年、30年経過時に限られます。それ以外の時点で年金受取を開始する場合や、運用期間中にご契約を解約される場合には、お受け取りになる金額が一時払保険料を下回る場合があります。
また、積立金額最低保証は契約日から30年経過時(ただしその日が、被保険者の契約年齢が90歳に達する年単位の契約応当日以降となる場合は、その契約応当日の直前の積立最低保証日)に消滅します。